

# 河畔林整備現場見学会を開催しました

河畔林の整備・維持管理が既に実践されている先進地の現場を見学し、今後の矢作川河畔林整備に向けた整備・維持管理等について学ぶため、7自治区の代表者の方々が参加し、河畔林現場見学会を開催しました。

## 見学会の概要

- 日時** 平成20年9月19日（金）9:20～15:30
- 見学先** 木曾川渡し場遊歩道（岐阜県可児市今渡）  
古岸水辺公園（豊田市扶桑町）  
お釣土場水辺公園（豊田市越戸町）
- 参加者** 大河原自治区・御蔵自治区・下川口自治区  
・矢作自治区・笹戸自治区・小渡自治区  
・浅野自治区（計7自治区）から代表者



## 見学先の概要

### 1. 木曾川渡し場遊歩道（岐阜県可児市今渡）

延長 700m、幅員 3～5 m  
今渡自治連合会と、土田自治会連合会が住民に呼びかけ、荒れていた竹やぶを整備して造った散策道。  
半世紀放置されてきたと推定される竹やぶは、人がとても入りきれないほど荒れていました。中学生から年配の方まで多くのボランティアが、平成19年の11月から本格的に力を入れて、整備を進めました。ボランティアも徐々に増え100人以上。今渡側と土田側から、それぞれの連合会が整備を進め、素晴らしい眺めの散策道が完成。最高に気持ちの良い場所です。



### 2. お釣土場水辺公園（豊田市越戸町）

延長 400 m  
平成8年度に豊田市が整備し、現在は地元有志により維持管理がされています。  
以前は、うっそうとした竹やぶでしたが、竹を間引いたら、竹やぶに隠れて元気がなかったいろいろな植物が今ではすっかり元気になりました。  
土場というのは川港のことを言い、ここには昔の船着場も残っています。



### 3. 古岸水辺公園（豊田市扶桑町）

延長 580 m、約 2 ha  
平成3～5年度に愛知県が水制工を整備し、現在は古岸水辺公園愛護会により維持管理がされています。  
古岸水辺公園は、矢作川の水があたるところにあるため、河岸の保護を目的として巨石の水制工があります。

## 見学会を開催して…

現地の方に説明をして頂きながら、3箇所の現場を見学しました。散策道を造る時の苦労話や、河畔林の植物が元気になったお話などを頂きながら、整備後の利活用や管理の事など、様々な意見交換が現地で自然に行われ、大変充実した見学会となりました。皆様、ありがとうございました。

矢作川河畔林整備がはじまりました！

昨年度、住民の皆様と共に策定しました「矢作川河畔林整備基本計画」に基づき、今年度は下川口自治区・矢作自治区の2自治区で計画を実現する事となりました。

# かわやぶ

矢作川河畔林整備事業



第5号

平成20年12月15日  
豊田市 建設部 河川課

# 第1回ワークショップが 開催されました

河畔林整備基本計画を実現するため、河川の安全性に配慮した整備図面（素案）について、自治区の皆さんによる意見交換会を開催しました。

整備の位置や材料について意見交換を行い、具体的な整備に向けて活発な意見交換が行われました。多数のご参加、ありがとうございました！  
ここでは、皆さんのご意見やワークショップの風景を一部ご紹介します。

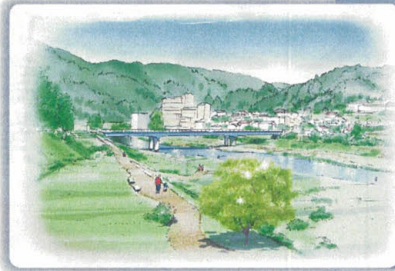
## 矢作自治区

### 「既存広場を再活用し、対岸と連携して整備したい」

平成20年 11月26日 18:30～20:10 場所：矢作集会所

整備内容： 笹戸橋下流の既存広場再整備と、周遊を兼ねた河畔林整備

#### ▼河畔林整備基本計画イメージ



▲整備図面（素案）

#### ワークショップで出た意見

##### 【通路の材質について】

- ・車両が走行しやすい材質にしたい。
- ・砂利は、草が生えにくく水に流されにくいイメージがある。
- ・竹チップは腐りやすいイメージがある。管理や経年後の景観が気になる。

##### 【ベンチについて】

- ・広場のヤナギの木の下は、休憩場所として利用。石製や地元産の太い木材製などしっかりとした物を設置したい。
- ・その他の場所は、移動性のある材質の物を設置しても良い。

##### 【崖の下を通過する場所について】

- ・車両の走行や水が被った際の耐久性が心配。

##### 【整備後の管理について】

- ・石積が水で流された際、住民では修復が出来ない。行政でお願いしたい。

#### ▼矢作自治区ワークショップの様子



#### ▼下川口自治区ワークショップの様子



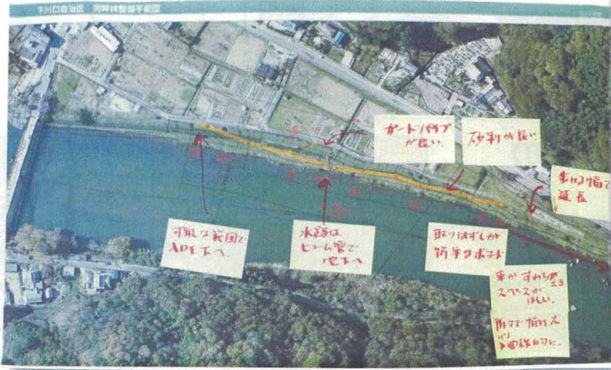
## 下川口自治区

### 「川辺を周遊し、川に親しめる環境を創りたい」

平成20年 11月27日 18:30～20:10 場所：下川口公民館

整備内容： 茅平～加茂橋の河畔林間伐・伐採と散策道・休憩所の整備

#### ▼整備図面（素案）



▲河畔林整備基本計画イメージ

#### ワークショップで出た意見

##### 【通路の材質について】

- ・材質は、景観に合った物がよい。
- ・歩行者や車両の通行を考え、平らな所は竹チップが良い。
- ・チップが流出した際は、補充は住民で管理していきたい。
- ・川砂は重たく、住民による補充作業が大変そうだ。

##### 【ベンチについて】

- ・流れない様に、石製のものが良い。
- 【ガードレールの交換について】
- ・景観の良いガードパイプが良い
- 【車止めについて】
- ・取り外しが容易な素材が望ましい。

##### 【整備後の管理について】

- ・通路は、管理しやすい構造にしてほしい。
- 【排水路について】
- ・排水路は草刈の際に作業が困難。ヒューム管を地中化し排水路を土で埋める事は出来ないが。

## 第1回ワークショップを終えて…

第1回ワークショップでは、事務局が提案した整備案について具体的な意見交換が出来ました。素材や構造については皆さんのご意見を踏まえながら、川の安全性に配慮した河畔林整備とするために、河川管理者との調整を図りながら今後検討して参ります。

## お問い合わせ

矢作川河畔林整備事業についてのご意見、ご感想等お気軽にご連絡ください。

豊田市 建設部 河川課（計画担当：早川、花田）

でわ：0565-34-6672

FAX：0565-33-2460



## お知らせ

次回、第2回ワークショップは現地にて開催します！  
実際に現地を歩きながら、工事受注業者の方々と一緒に散策道の位置や幅、勾配等について現地で確認して頂きます。  
開催は1月を予定しております。皆様のご参加、お待ちしております！